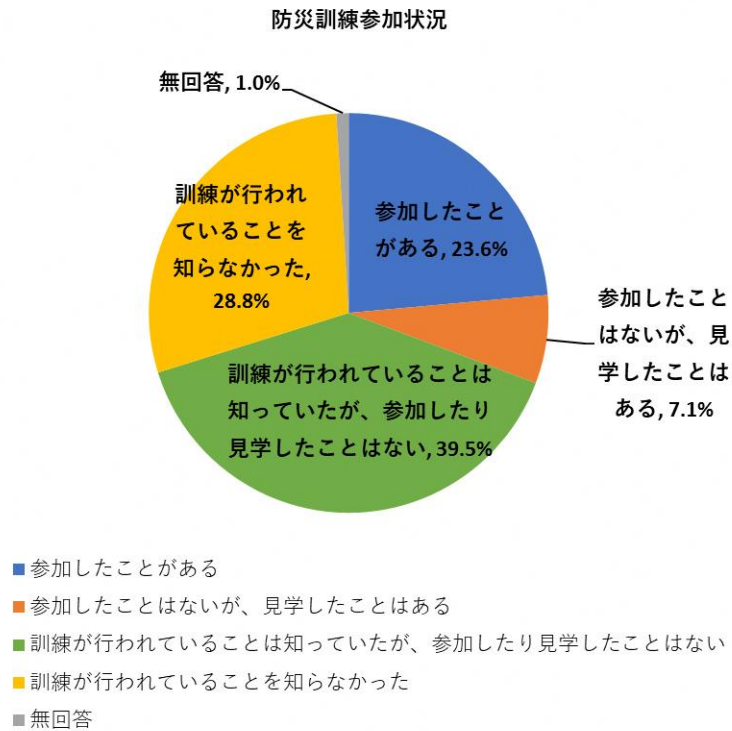


「精華町まちづくり基本構想」  
アンケート調査結果  
【別紙】



問4 精華町では、毎年防災訓練を行っています。あなたは、今までに精華町の実施する防災訓練に参加したり、見学したことがありますか。



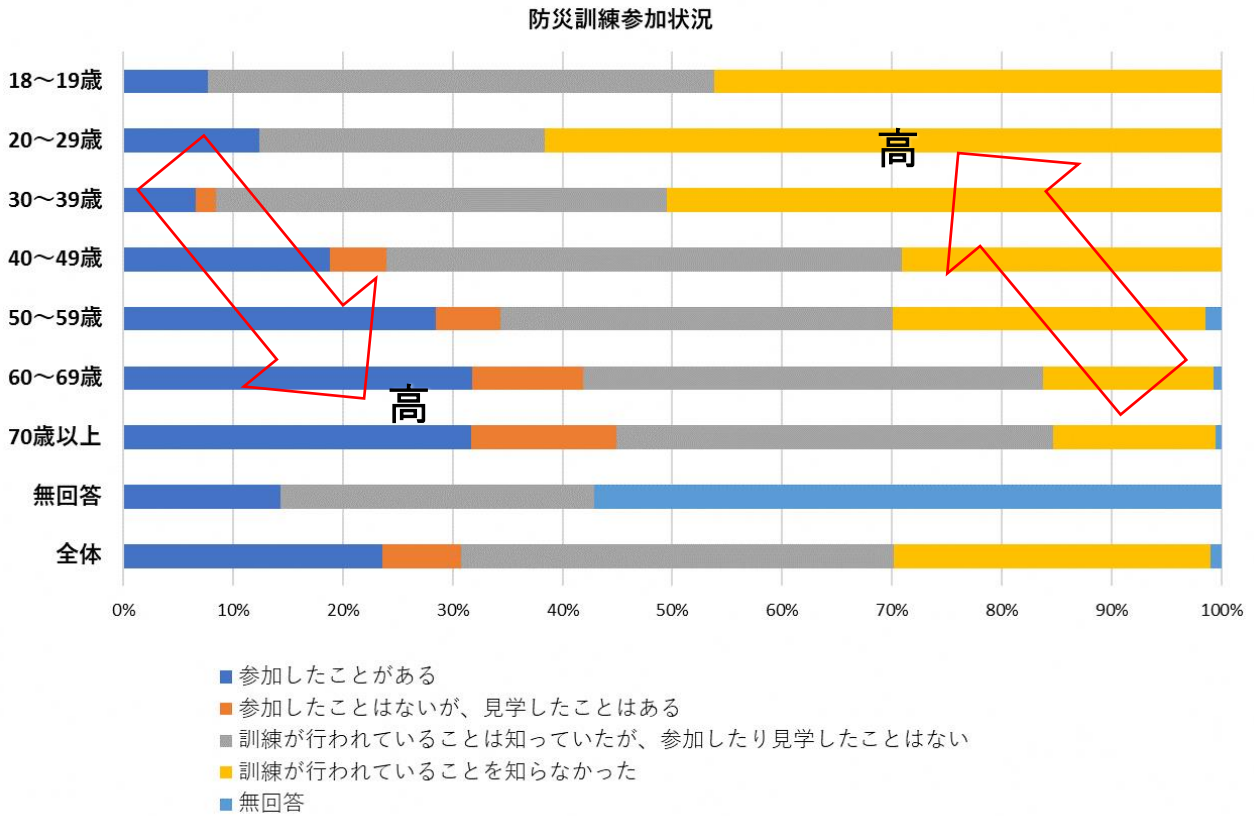
精華町における防災訓練への参加状況は、全国調査の値を下回る結果となりました。

また、「訓練が行われていることを知らなかった」、「訓練が行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはない」という回答が、それぞれ「参加したことがある」という回答を上回っており、今後の改善が必要であると考えます。

回答	精華町	全国（※）
参加したことがある	23.6%	40.4%
参加したことはないが、見学したことはある	7.1%	4.0%
訓練が行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはない	39.5%	30.7%
訓練が行われていることを知らなかった	28.8%	24.0%

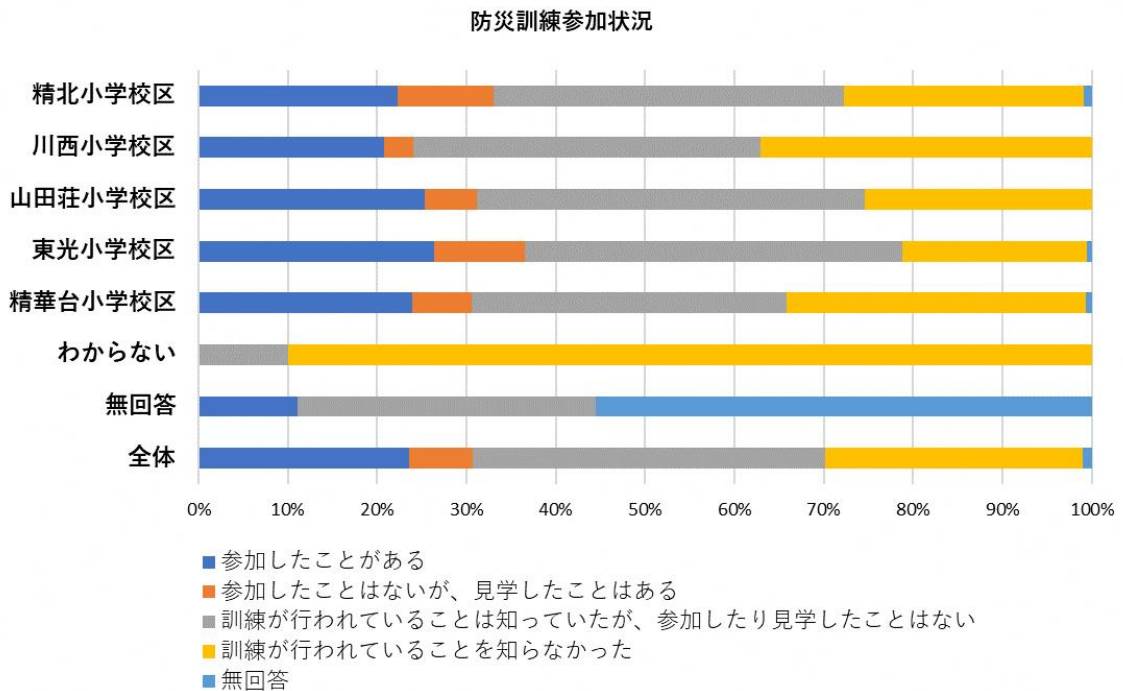
※：「防災に関する世論調査」（平成 29 年 11 月），問 10

【クロス集計】問4 × 年齢



- 若年者の参加率が低く、訓練に対する認知度も低い

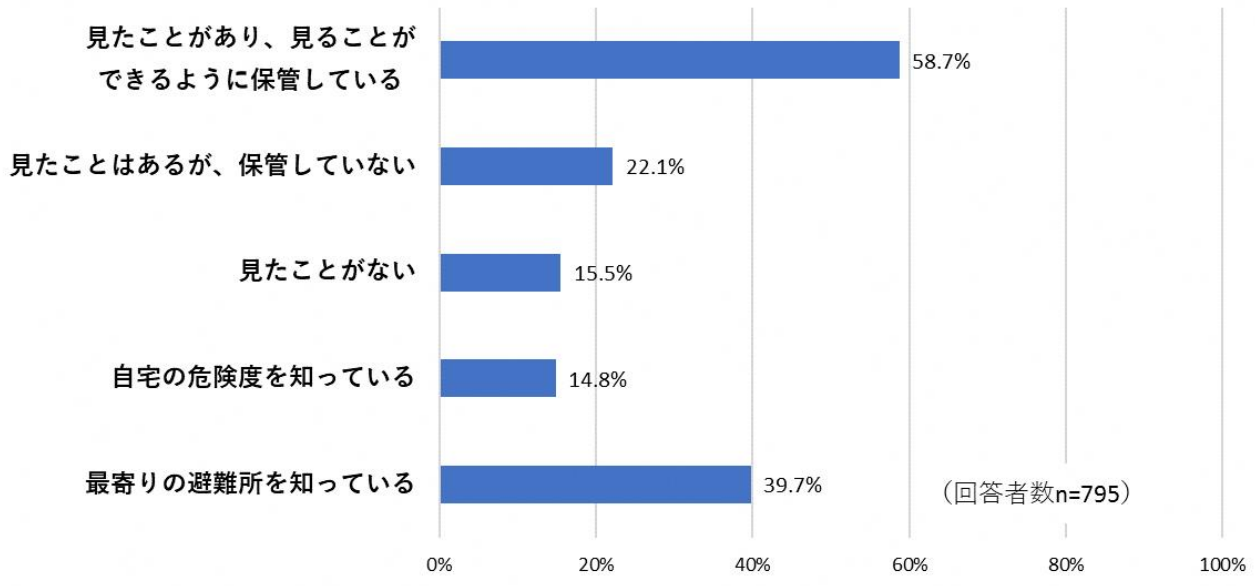
【クロス集計】問4 × 小学校区



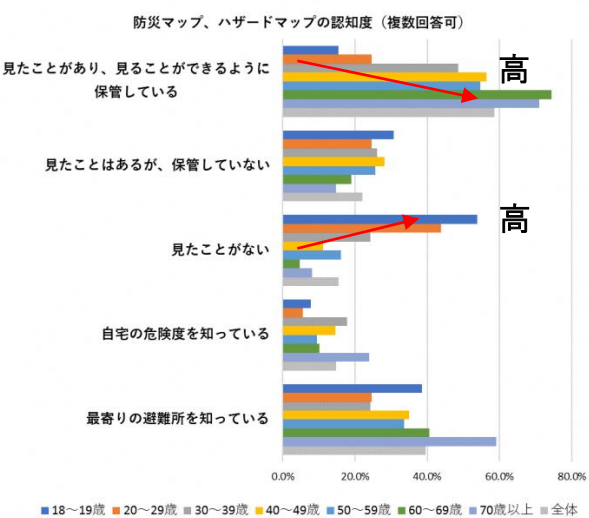
- 校区ごとの差はあまりない

問5 あなたは災害時に避難救護活動を行う施設、特に注意すべき場所、防災知識などをとりまとめた「精華町防災マップ」や「精華町地震ハザードマップ」を知っていますか。(複数回答可)

防災マップ、ハザードマップの認知度 (複数回答可)

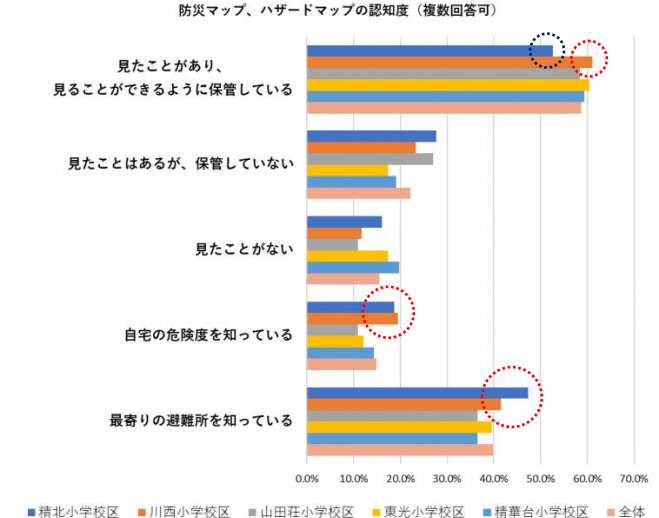


【クロス集計】問5×年齢



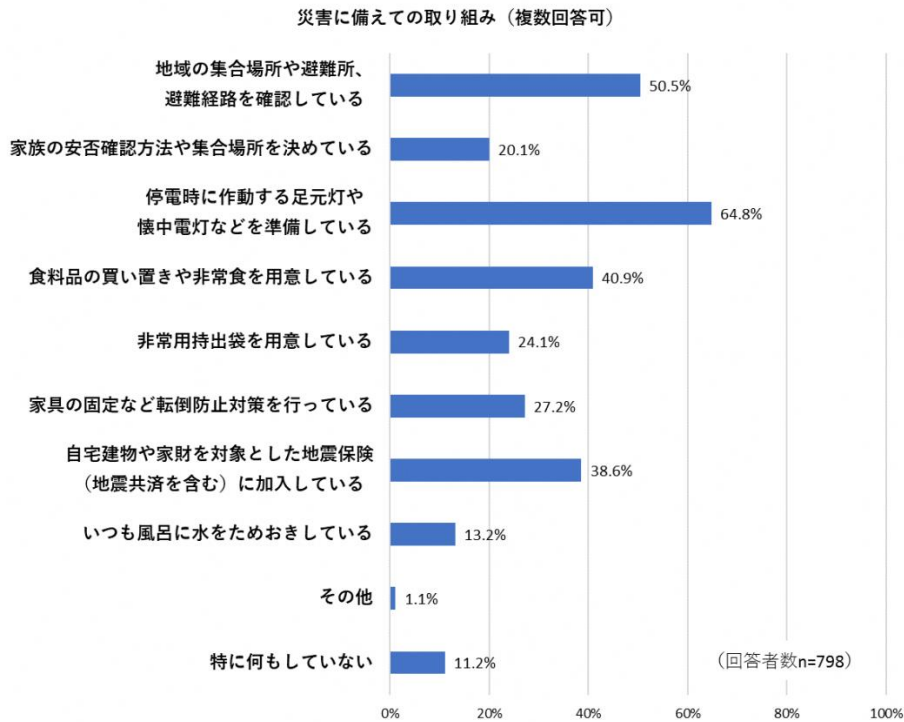
- 防災マップの保管状況は高齢者ほど高くなっている
- 若年者ほど防災マップを見たことがないという割合が高い

【クロス集計】問5×小学校区

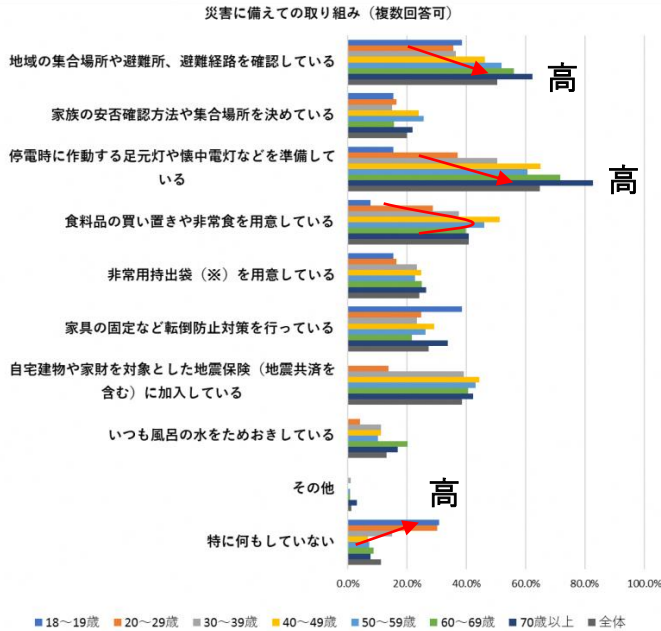


- 川西小学校区は防災マップを認知、保管している人の割合が町全体で見ると高く、「自宅の危険度を知っている」「最寄りの避難所を知っている」人の割合も高い
- 精北小学校区は防災マップを保管している人の割合は町全体で見ると低いですが、「自宅の危険度を知っている」「最寄りの避難所を知っている」人の割合は高い

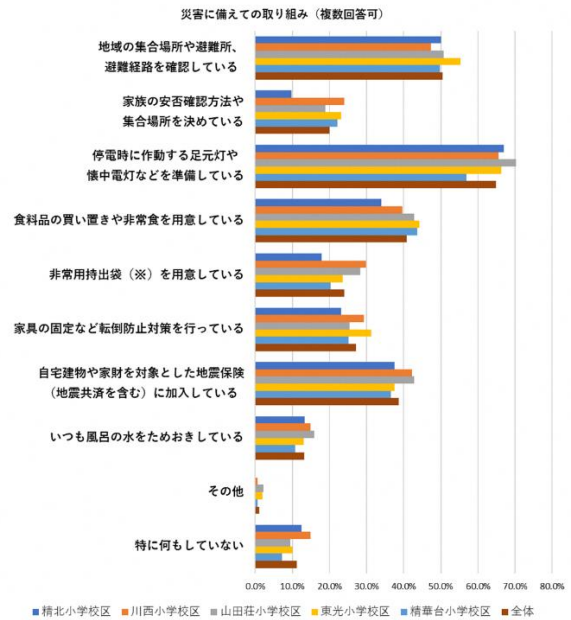
問6 あなたは災害に備えて具体的にどのような取組をされていますか。(複数回答可)



【クロス集計】問6×年齢



【クロス集計】問6×小学校区

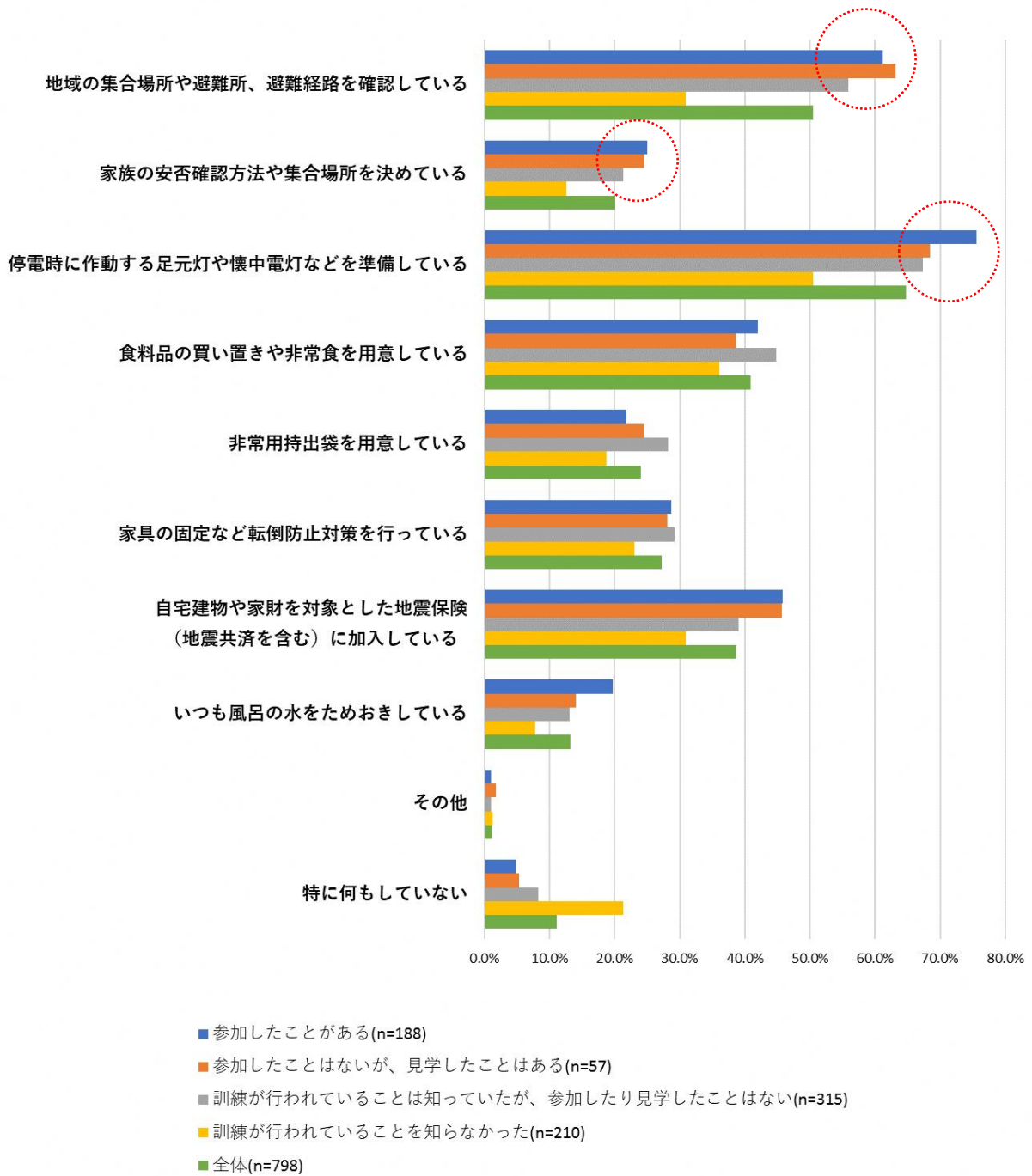


- 避難経路の確認や懐中電灯の準備は高齢者ほど対策を行っている
- 非常食の備えについては子育て世代の回答率が高い
- 特に何もしていないという回答は若年者で多い

- 精北小学校区は懐中電灯の準備以外の項目で、町全体の回答率を下回った

【クロス集計】問4×問6

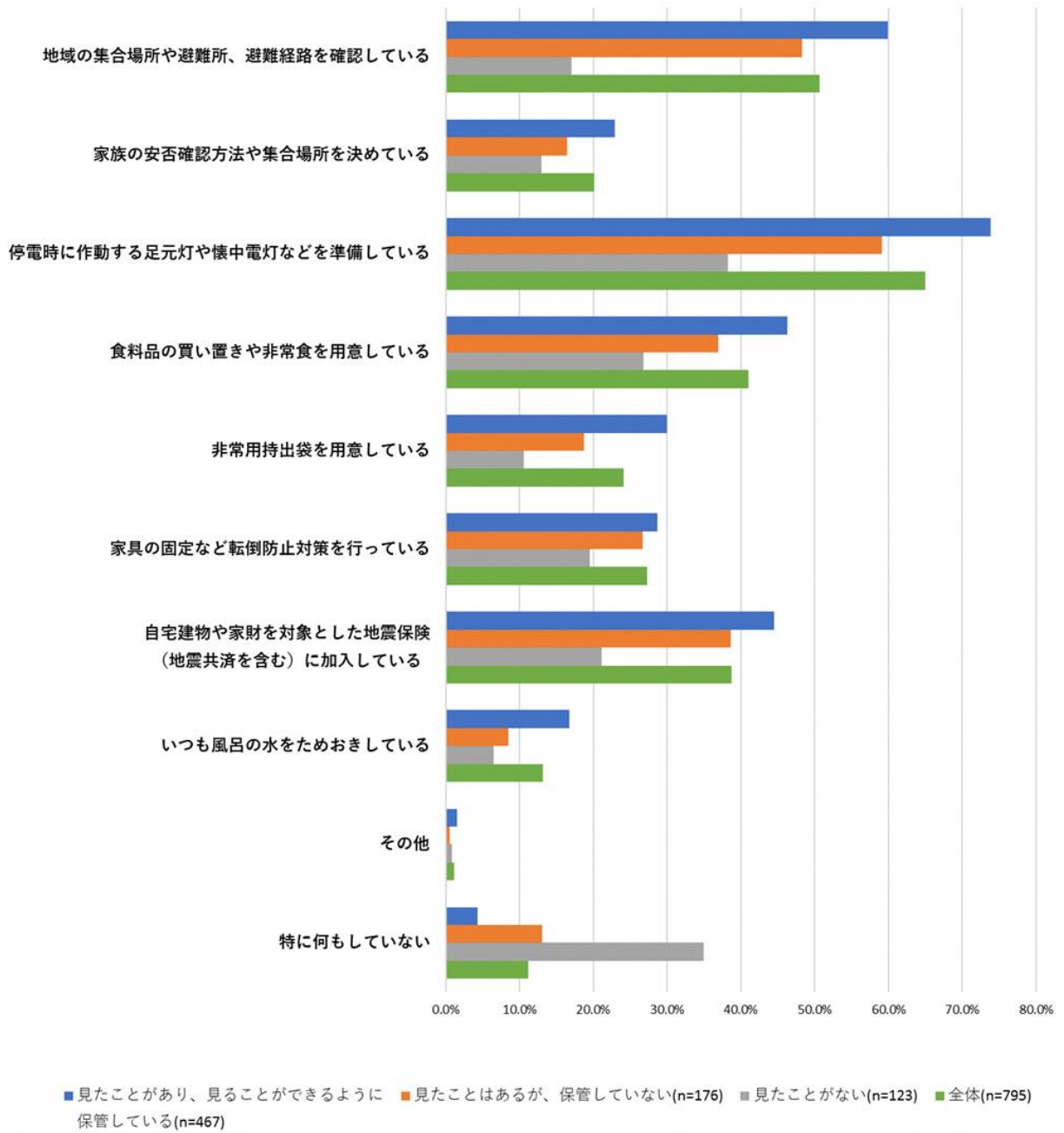
防災訓練参加状況と災害に対する取り組み（複数回答可）



- 「防災訓練が行われていることを知っていたが、参加したり見学したことはない」という人と、実際に「参加したことがある」人、「参加したことはないが、見学したことがある」人との間には、災害に対する取り組みへの差はあまり出なかった
- 「訓練が行われていることを知らなかった」人は、「特に何もしていない」と回答した人の割合が高かった

【クロス集計】問5（防災マップに関するもの）×問6

防災マップの認知度と災害に対する取り組み（複数回答可）

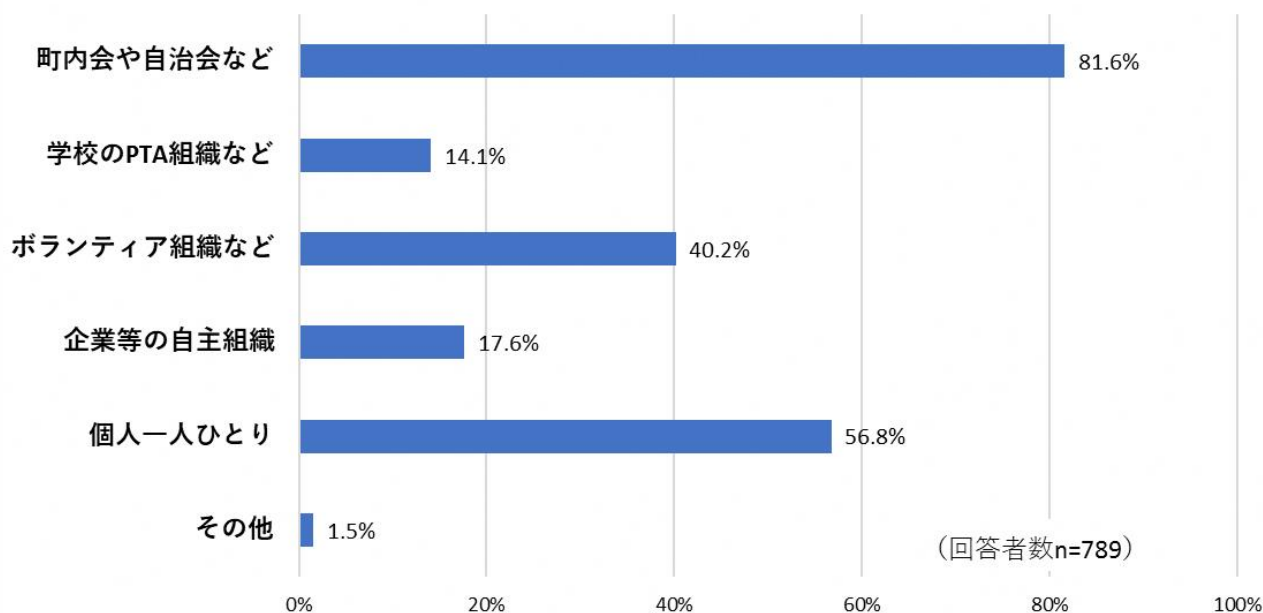


- 防災マップを「見たことがない」人は、全ての取り組み項目で、精華町全体の結果を下回った。

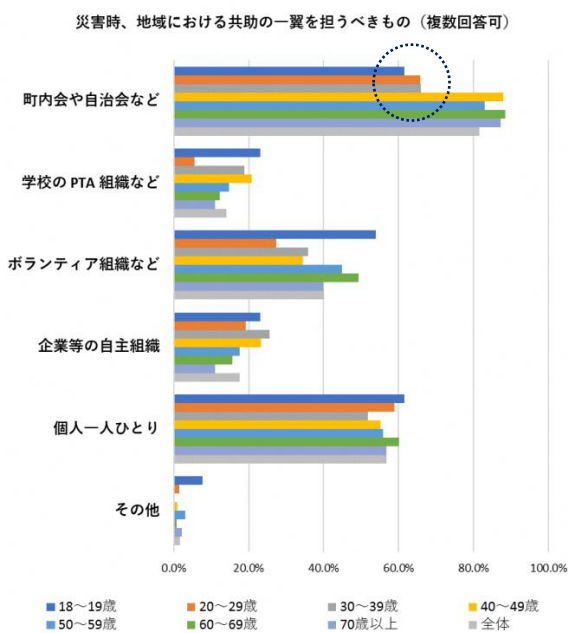


問8 災害時、行政による活動のほかに、地域における共助の一翼を担うべきものは何だと思えますか。(複数回答可)

災害時、地域における共助の一翼を担うべきもの(複数回答可)

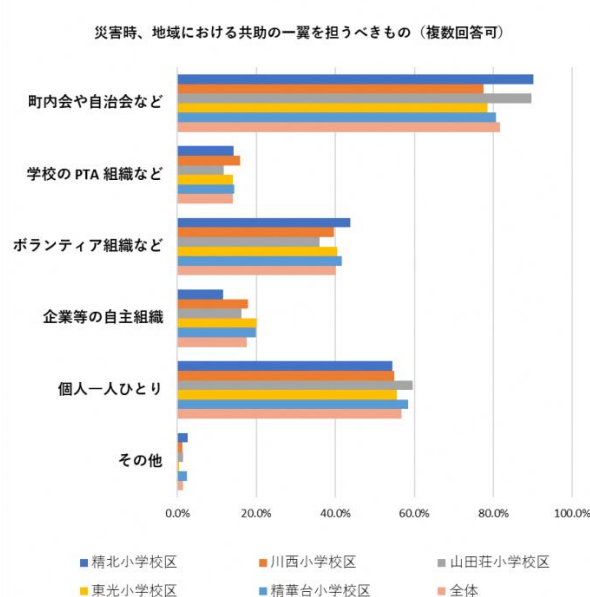


【クロス集計】問8×年齢



- 30代以下になると「町内会や自治会など」と回答した割合が下がる

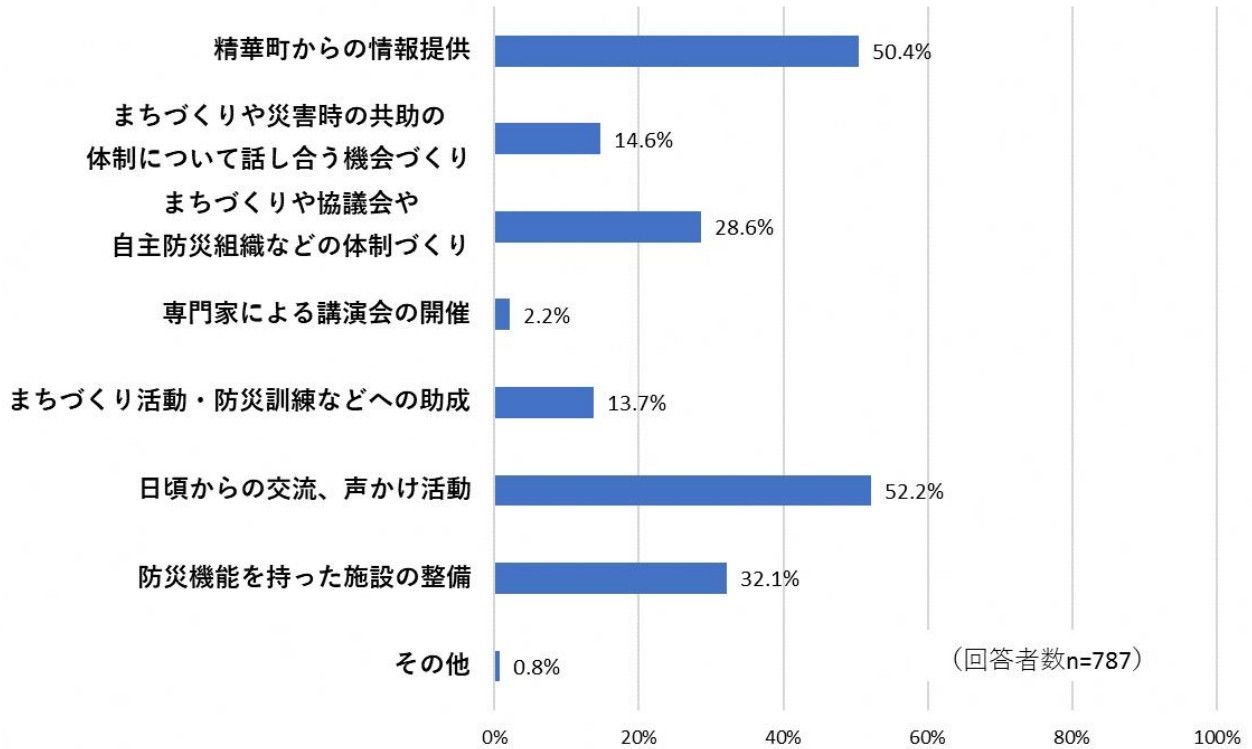
【クロス集計】問8×小学校区



- 精北小学校区、山田荘小学校区では「町内会や自治会など」への回答率が90%近くあった。

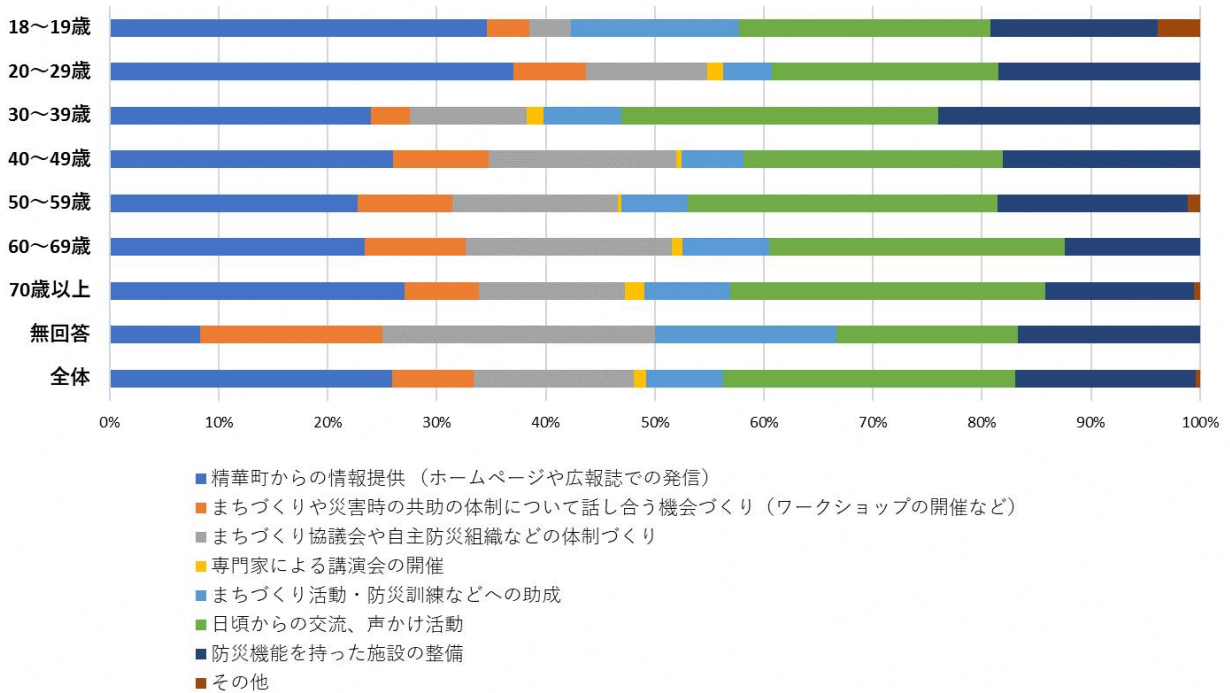
問9 災害時、地域による共助が機能するために、重要なものは何だと思えますか。(2つまで回答可)

災害時、地域による共助が機能するために、重要なもの(2つまで回答可)

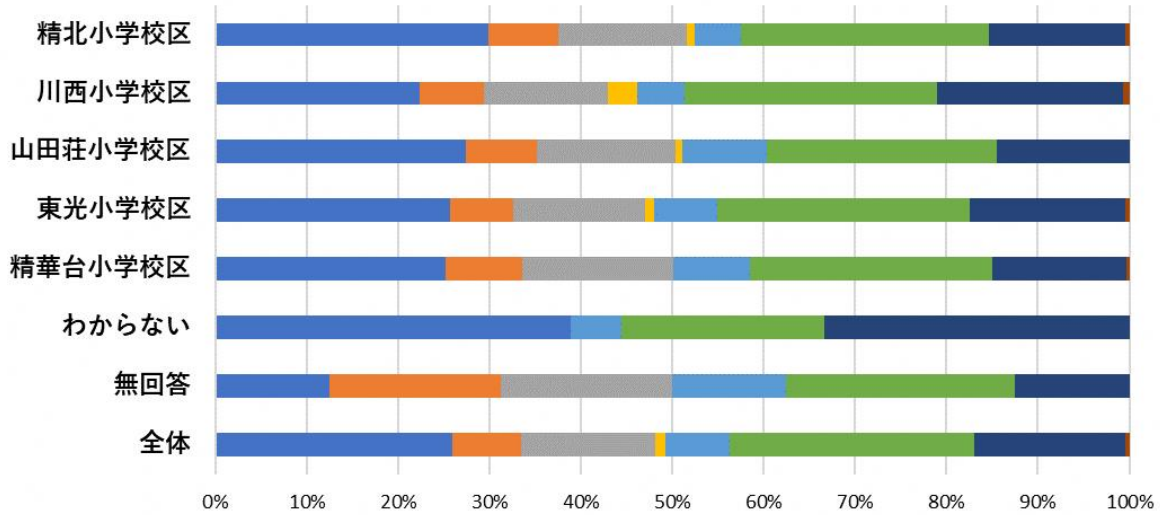


【クロス集計】問9×年齢

災害時、地域による共助が機能するために、重要なもの(2つまで回答可)



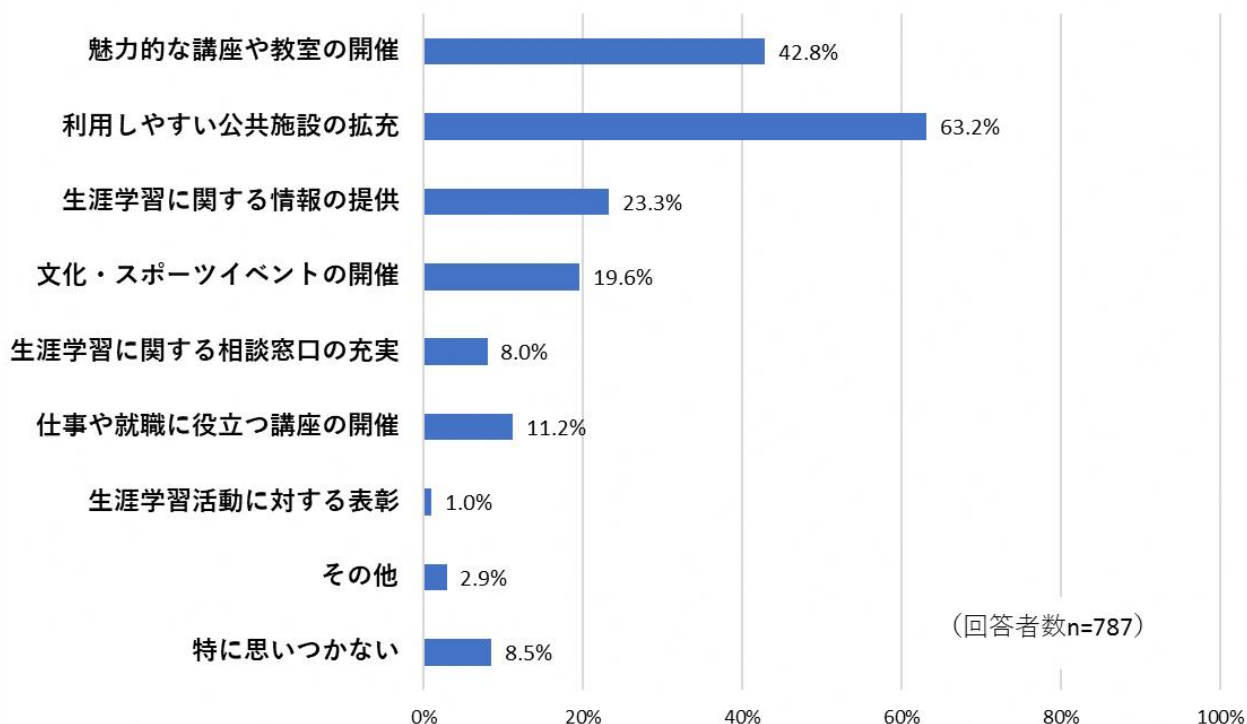
災害時、地域による共助が機能するために、重要なもの（2つまで回答可）



- 精華町からの情報提供（ホームページや広報誌での発信）
- まちづくりや災害時の共助の体制について話し合う機会づくり（ワークショップの開催など）
- まちづくり協議会や自主防災組織などの体制づくり
- 専門家による講演会の開催
- まちづくり活動・防災訓練などへの助成
- 日頃からの交流、声かけ活動
- 防災機能を持った施設の整備
- その他

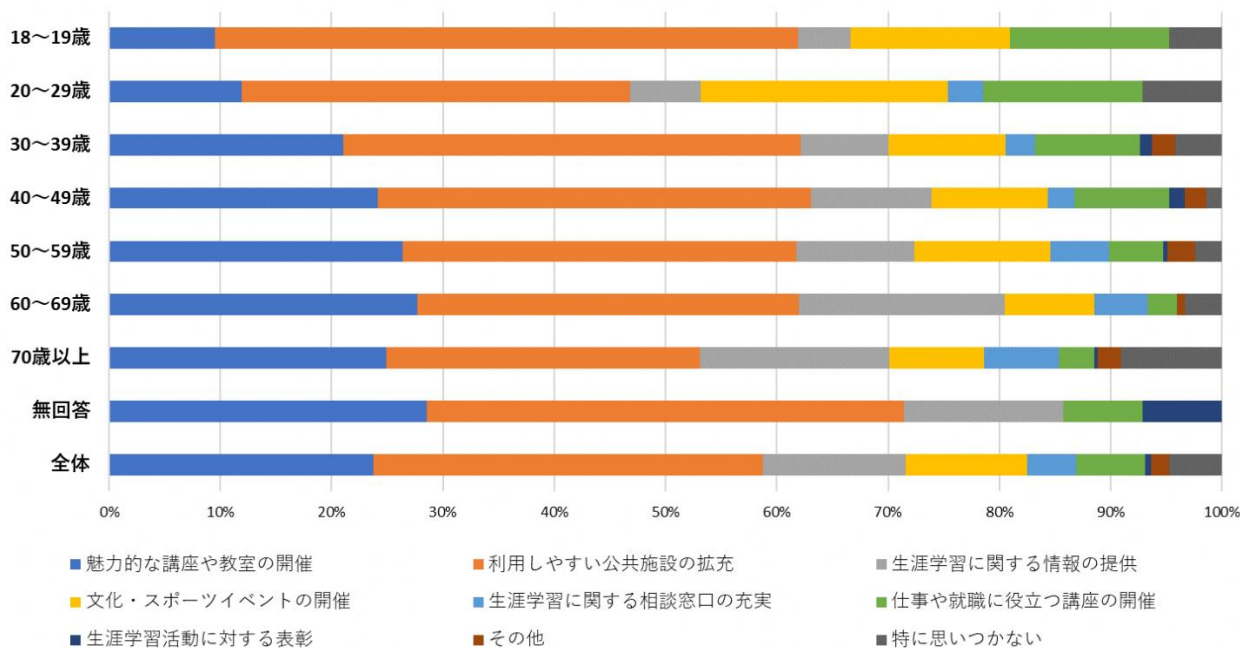
問13 生涯学習を通じて地域交流を活発にするために精華町が取り組むべきことは何だと思えますか。  
(2つまで回答可)

地域交流を活発にするために精華町が取り組むべきこと (2つまで回答可)



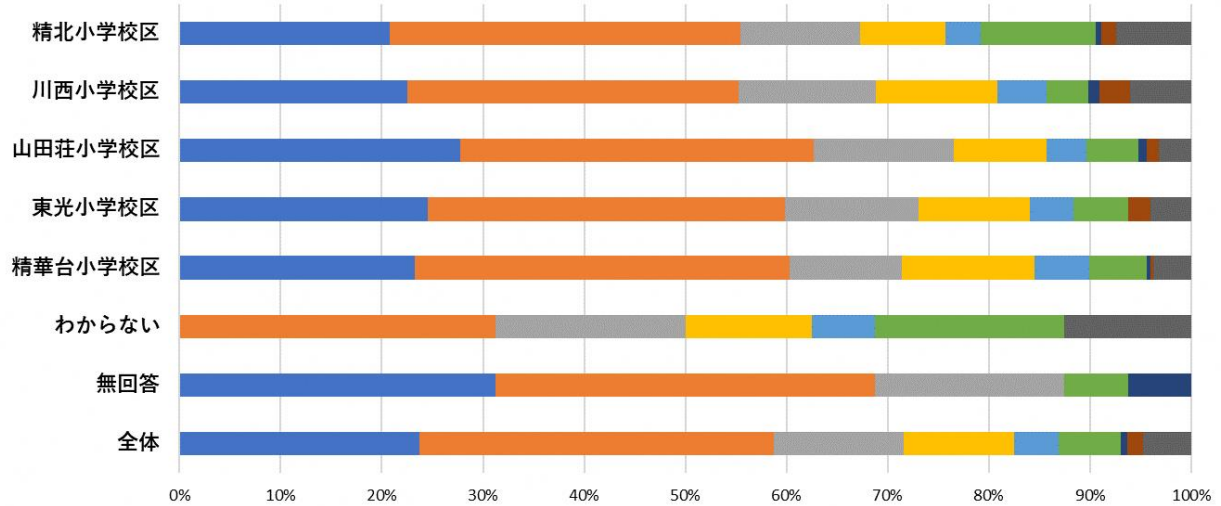
【クロス集計】問13×年齢

地域交流を活発にするために精華町が取り組むべきこと (2つまで回答可)



## 【クロス集計】問13×小学校区

地域交流を活発にするために精華町が取り組むべきこと（2つまで回答可）



■ 魅力的な講座や教室の開催

■ 利用しやすい公共施設の拡充

■ 生涯学習に関する情報の提供

■ 文化・スポーツイベントの開催

■ 生涯学習に関する相談窓口の充実

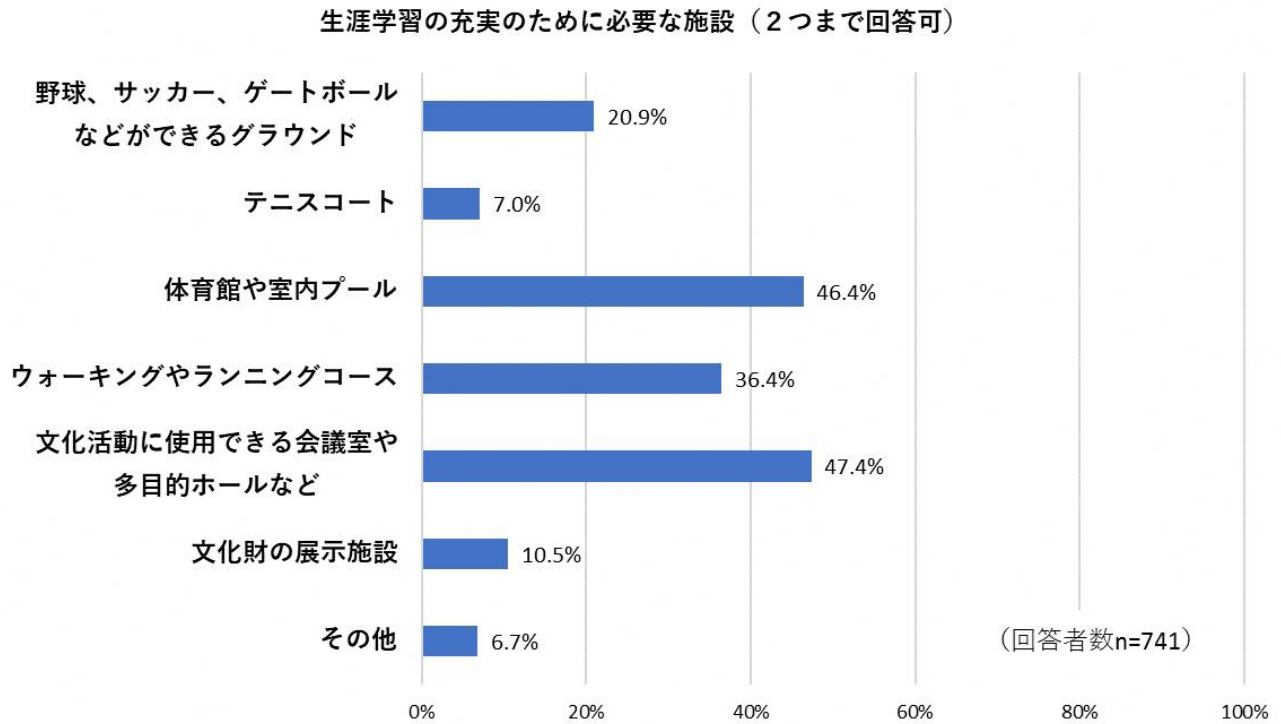
■ 仕事や就職に役立つ講座の開催

■ 生涯学習活動に対する表彰

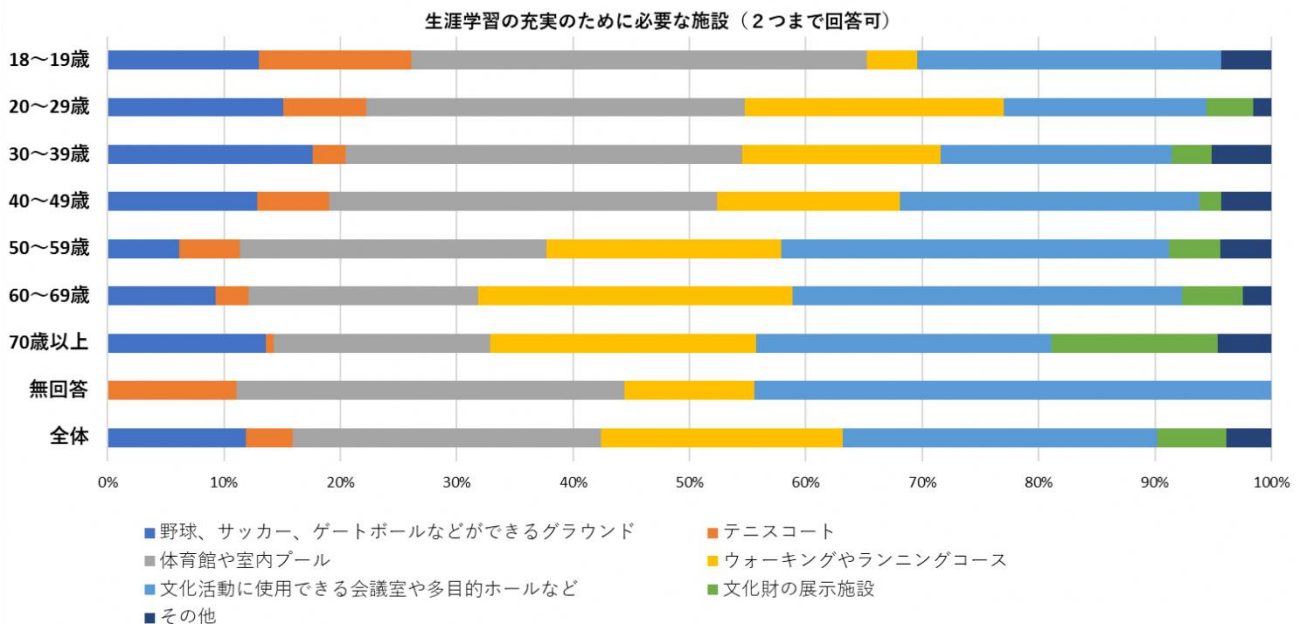
■ その他

■ 特に思いつかない

問1 4 生涯学習の充実のために必要な施設は何だと思いますか。(2つまで回答可)



【クロス集計】問1 4 × 年齢



## 【クロス集計】問14×小学校区

生涯学習の充実のために必要な施設（2つまで回答可）

